

平成 25 年度卒業生アンケート調査報告

I 調査の目的と方法

自己点検・評価委員会では平成 25 年 3 月の本学卒業生に対し、在学期間中の（1）学修、（2）学生生活、（3）学園の施設・設備、（4）総合評価のそれぞれについて、卒業式の当日（平成 25 年 3 月 15 日）にアンケート調査を行った。その集計結果を報告する。

なお、このアンケート調査は、平成 14 年度以来継続している卒業生調査の延長線上にあるものであるが、平成 25 年度の実施にあたり、以下の点に留意して質問項目の見直しを図った。

- 1) 冒頭にて語学・IT についての質問をしてきていたが、大学本来の専門教育にかかわる質問をベースに定め、設問 1, 2 に専門分野の修得にかかる項目を設けた。
- 2) 設問 13 として、「大学入学時に 4 年間の目標を立て、その目標は実現した」という、自己の達成度に関わる質問を追加した。これは目標の有無、またその実現についての質問となっているが、将来的には学習に関する目標を立てること自体を大学の姿勢として学生に課した上で、その達成度について学生に自己評価させることを企図している。
- 3) 二箇所あった自由記述箇所を一箇所に統一した。
- 4) その他、質問項目のいくつかについて、表記を見なおした。

なお、調査の概況は（表 1）のとおりである。

（表 1） 調査対象（卒業生）数、回収数、回収率

学 部	学 科	卒業生数	回収数			回収率
			記名	無記名	計	
社会学部	人間心理学科	79	70	0	70	88.6%
	ライフデザイン学科	52	49	0	49	94.2%
	経営社会学科	89	80	0	80	89.8%
メディアコミュニケーション学部	マス・コミュニケーション学科	124	117	0	117	94.3%
	情報文化学科	72	68	0	68	94.4%
全学合計		416	384	0	384	92.3%

II 調査結果

アンケート調査は 3 領域と総合評価の合計 30 項目の 5 択質問と、自由記述により構成されており、5 択の選択肢は次のとおりである。

- ⑤ あてはまると思う・そう思う

- ④ ややあてはまる・ややそう思う
 ③ どちらとも言えない
 ② ややあてはまらない・ややそう思わない
 ① あてはまらない・そう思わない

(表2)に調査の集計結果(全学集計)を示した。

(表2)平成25年度卒業生アンケート集計結果(全学集計表)

全学集計

設 問	平均	回答件数					
		合計	5	4	3	2	1
1. 学修について							
1 専門分野についての知識や技能が身に付いた	4.0	383	102	210	58	8	5
2 専門分野以外の幅広い教養が身に付いた	4.0	384	113	174	82	11	4
3 外国語の力が付いた	2.5	377	33	55	93	95	101
4 海外研修は有意義だった(参加者のみ回答してください)	3.8	189	82	38	39	10	20
5 大学から貸与されたパソコンをよく利用した	4.6	378	283	64	20	7	4
6 ワードやパワーポイントなどの基本的なソフトの知識と技能が身に付いた	4.3	382	181	135	53	13	0
7 設置科目や履修学年など、カリキュラムは満足できるものだった	3.9	381	96	179	90	14	2
8 WEBシラバスは履修科目を選ぶのに役に立った	3.9	383	123	142	88	17	13
9 履修モデルは履修科目を選ぶのに役に立った	3.7	384	105	141	83	43	12
10 図書館をよく利用した	3.7	383	120	120	82	45	16
11 卒業後の進路選択のための科目は役に立った	3.5	384	86	106	132	39	21
12 資格取得のための科目は役に立った	3.2	383	72	69	147	59	36
2. 学生生活について							
13 大学入学時に4年間の目標を立て、その目標は実現した	3.5	382	78	120	122	40	22
14 在学中はよく勉強した	3.3	384	63	101	144	56	20
15 在学中は部活・クラブ活動中心の生活だった	2.5	382	59	48	74	62	139
16 在学中に多くの本を読んだ	3.2	382	74	80	106	80	42
17 就職活動を積極的に行った	3.5	382	112	83	97	51	39
18 よい友人ができた	4.5	382	244	85	42	4	7
19 教員と良好な関係を作れた	4.2	384	175	124	74	9	2
20 職員と良好な関係を作れた	3.8	383	132	101	110	23	17
21 大学通学のための家族の経済的負担は大きかった	4.0	383	153	116	86	22	6
22 学費を得るためにアルバイトが必要だった	3.5	384	142	75	75	31	61
23 大学生生活を終えて自分は成長したと感じている	4.2	384	172	136	58	13	5
3. 施設・設備について							
24 教室などの教育関連施設に満足できた	3.9	384	113	143	98	24	6
25 図書館に満足できた	4.0	383	141	130	84	20	8
26 ネットワーク環境に満足できた	4.2	383	179	126	59	15	4
27 貸与パソコンのサポート体制に満足できた	4.1	383	159	132	72	17	3
28 体育関連施設に満足できた	3.1	384	71	66	134	54	59
29 食堂に満足できた	3.3	384	71	102	117	50	44
4. 総合評価							
30 江戸川大学に入学してよかった	4.3	383	186	122	70	3	2

5 あてはまる・そう思う 4 ややあてはまる・ややそう思う 3 どちらとも言えない 2 ややあてはまらない・ややそう思わない 1 あてはまらない・そう思わない

Ⅲ 調査結果の要点

アンケート調査の集計結果から、次のような特徴が判明した。

1. 「学修について」の質問に対する回答

- ・専門分野についての知識や技能が身についたという質問への評価は全学平均で4.0ポイント、と高いものであった。各学科の専門科目について概ね満足度が高かったことが伺える。
- ・英語の力がついたという評価は前年度と同様の2.5ポイントとなっている。なお、学科ごとの数値は、英語の科目が充実している情報文化学科の満足度が高いと言える。
- ・ワードやパワーポイントなどの基本的なソフトの知識と技能が身に付いたという質問への評価は4.3ポイントと高く、貸与パソコンの利用についての質問でも全学で4.6ポイントと高いものであった。本学におけるICT環境の充実を物語る結果と言える。

2. 「学生生活について」の質問に対する回答

- ・大学入学時に4年間の目標を立て、その目標は実現したという質問に対し、全学平均で3.5ポイントとなり、学科別でも大きな差異は見られなかった。
- ・部活・クラブ活動中心の生活だったかという質問への評価ポイントが低く、一方よい友人ができた、教職員との良好な関係を作れたといった質問への評価ポイントが高い傾向にある。豊かな人間関係を重視する一方、それが必ずしも部活動などに寄らないことが読み取れる。

3. 「施設・設備について」の質問に対する回答

- ・教室などの教育関連施設に満足できたという質問の評価は昨年度より増加し3.9ポイントであった。
- ・図書館、ネットワーク環境、貸与パソコンのサポート体制に関する質問はいずれも4ポイントを越える高評価となっており、学生の満足度の高さが伺える。
- ・学生食堂については全学平均で3.3ポイントとなり、昨年度の3.1ポイントより若干増加した。学生食堂のメニュー変更などが多少プラスに働いたのではないと思われる。

4. 「総合評価」の質問に対する回答

- ・江戸川大学に入学してよかったという質問に対する回答の平均は4.3であり、昨年度同様総合的な満足度は高いと言える。